

平成28年度 第1回 南河内在宅医療懇話会概要

日時：平成28年8月8日（月）14:00～15:20

場所：大阪府南河内府民センター3階 講堂

■議題1 地域医療構想策定について

（資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明）

（資料1） 地域医療構想について

（意見、質疑等 なし）

■議題2 地域医療介護総合確保基金について

（資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明）

（資料2-1） 地域医療介護総合確保基金とは

基金事業の配分額及び各圏域からの意見聴取について

（資料2-2） 平成28年度地域医療介護総合確保基金事業（案）一覧

（資料2-3） 平成27年度地域医療介護総合確保基金事業一覧

（資料2-4） 平成27年度基金事業（医療分）個票

（主な意見等）

○一つ一つの事業はそれぞれ進展しているが、全体調整が必要ではないか。

それなくしては全体の地域医療構想につながらない。

○強化型在宅診療支援病院・診療所の連携体制構築に取り組んでいる。診療報酬改定に伴い、看取りの実績に関する施設要件が厳しくなり、連携の輪に入っている機関が減っている現状。在宅医療に関心を持ってもらうための機会作りとして、月1回のケースカンファレンスには新たに開業した医師にも参加を呼びかけている。

○医師会として地域連携室を立ち上げたが、具体の活動はこれからになる。今年度下半期にはブルーカードシステムに着手したい。

■議題3 28年度主要テーマについて

■議題4 今後の進め方について

(資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明)

- (資料3) 各懇話会での意見集約について
- (資料4) 各圏域からの意見聴取にかかる今後のスケジュール
- (資料5) 在宅医療の充実に向けたテーマ(地域医療構想より一部抜粋)
- (資料6) 在宅医療懇話会における意見交換の進め方について
- (資料7) 南河内在宅医療懇話会 アンケートのお願い
- (資料8) 平成28年度地域医療介護総合確保基金(医療分)事業にかかるアンケート
- (資料9) 様式1 医療資源充実
- (資料10) 様式2 緊急時対応24時間提供体制
- (資料11) 様式3 診療所等への後方支援
- (資料12) 別表 第2回 南河内在宅医療懇話会の日程調整
- (参考資料1) 在宅医療・介護連携推進事業の推進に向けた今後の取り組みと都道府県の役割について
- (参考資料2) 在宅医療懇話会 参考資料集(ver.1)
- (参考資料3) 南河内構想区域の状況
- (参考資料4) 医療資源の分類

(主な意見等)

- 医師会地域医療連携室が、退院時、かかりつけ医へつなぐ役割を担っているが、実態としては医師会理事へ(在宅支援を)依頼している現状。とくに困っているのはBPSDのあるケース。幻覚・妄想のある患者対応が難しい。診療科の偏りがあるように思う。他地区でも同じことが起こっているのではないか。休診日のフォロー体制は大きなシステム作りは難しく、小さく地区を分けて補完し合う、在宅診療経験のない医師にも手伝ってもらうのが現実的か。
- 在宅医療に関する温度差が大きいように感じる。今は在宅医は「足りないけれど何とかやっつけていける、しかし専門医に頼っている」のが現状。この圏域は北と南ではかなり距離があるが、郡市区医師会をまたぐような取組みがあれば。消防の協力を得てブルーカードシステムを運用しており、住民にも主治医にも好評だが、認知症患者には対応できていないのが現状。